

入学までに身につけたいこと

④ 時間感覚

学校生活では「いつまでに〇〇する」という時間の感覚が必要になります。これは、幼稚園生活と大きく異なることかもしれません。

目に見えない時間の感覚や、時計の理解は、子どもにとって難しいものです。詳しくは入学後にしっかり学びますが、この日常会話の中に時間を意識するような言葉かけを入れていくといいと思います。

【ポイント】

- ・「7時からごはんだから、片付けておいてね」
- ・「もう、寝る時間だから、あと5分でテレビはおしまいね」等、時間を意識できる声掛けをしてみましょう。
- ＊アナログ時計の方が、時間の感覚がわかりやすいようです。

⑤ 返事と挨拶

自分の名前が呼ばれて、元気に「はい」と返事することや、「おはようございます」「さようなら」などの挨拶は、相手に気持ちを向けていることの表現であり、コミュニケーションの基本です。

挨拶は、する側もされる側も、気持ちのよいもの。自然に笑顔も出てきます。その気持ちよさを感じながら、挨拶の習慣づけられるといいですね。

【ポイント】

- ＊少し気恥ずかしくても、家族内での挨拶は欠かさずに！！

⑥ 話を聞く

学力の伸びる子どもが、必ず持っているのは「話を聞く力」です。授業に限らず、集団生活を楽しく送るためにも必要な力です。

園でも先生や友達の話を書く機会が多くあります。家庭でも、聞く経験、話す経験を増やしましょう。

【ポイント】

- ・話を聞くときには、相手の方を向いて、目を見る習慣をつけましょう。
- ・最後まで話を聞き答えられるよう、親子で日頃から会話を増やしましょう。

⑦ 言いたいことを相手に伝える

話す力をつけるためには、どうしたいかを自分の言葉で表現することが大切です。言いたいことが途中でわかったとしても、焦らずに最後まで聞いてあげましょう。子供たちは、安心できる人間関係の中で「伝えられた実感」を重ねて、話す自信をつけていきます。

絵本の読み聞かせも大切です。子供たちは耳でおはなしを聞き、目で絵を読み込み、頭でイメージを広げていきます。集中力や想像力はもちろん、絵本で豊かな言葉に触れることにより、語彙も増えます。ぜひ、たくさん読んであげてください。

【ポイント】

- ・聞く体験たくさんさせましょう。
- ・子供の伝える力を伸ばすためには、親が先回りしない。

